

志賀町人口ビジョン（改訂版）

令和2年3月改訂



志賀町

もくじ

1. 人口の動向分析	1
1-1 総人口の推移	1
1-2 自然動態に関する変化	2
1-3 社会動態に関する変化	4
1-4 雇用や就労等に関する変化	7
2. 人口の現状分析	9
3. 将来人口推計	10
3-1 人口ビジョン（改訂版）の考え方	10
3-2 人口ビジョンの目標	11

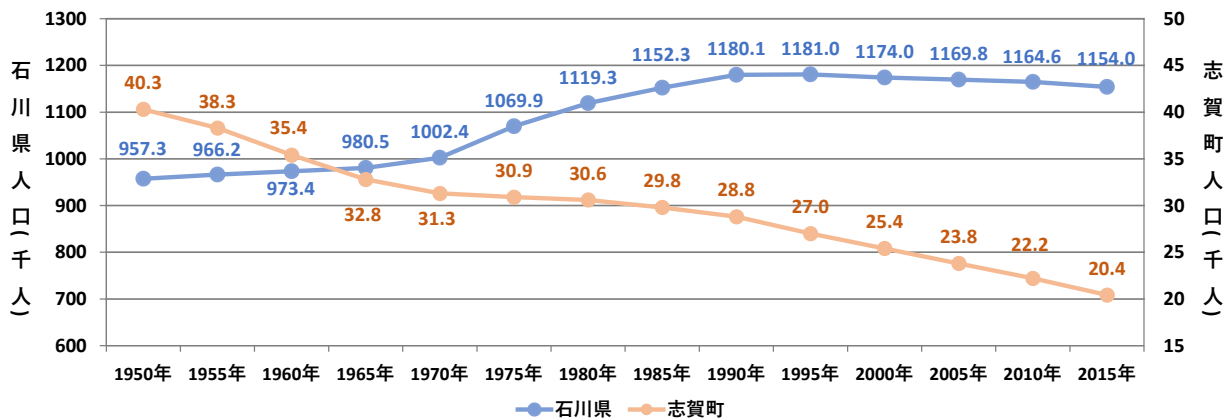
1. 人口の動向分析

※2020 年度に国勢調査が実施されるため、新しい調査結果が発表され次第更新する。

1-1 総人口の推移

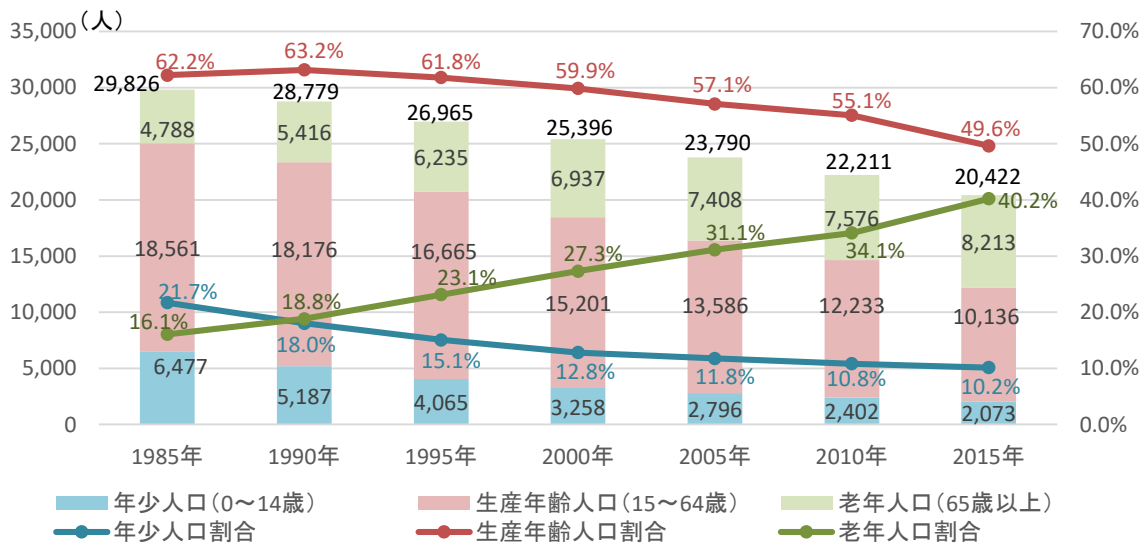
- ・本町では人口減少が続いています。特に 1990 年以降に再び人口減少のペースが加速しています。
- ・65 歳以上人口は増加し続けている一方、15 歳未満、及び 15 歳から 64 歳の人口は減少し続けており、少子高齢化が進んでいます。

図表 総人口の推移



出典：国勢調査

図表 年齢3区分の推移



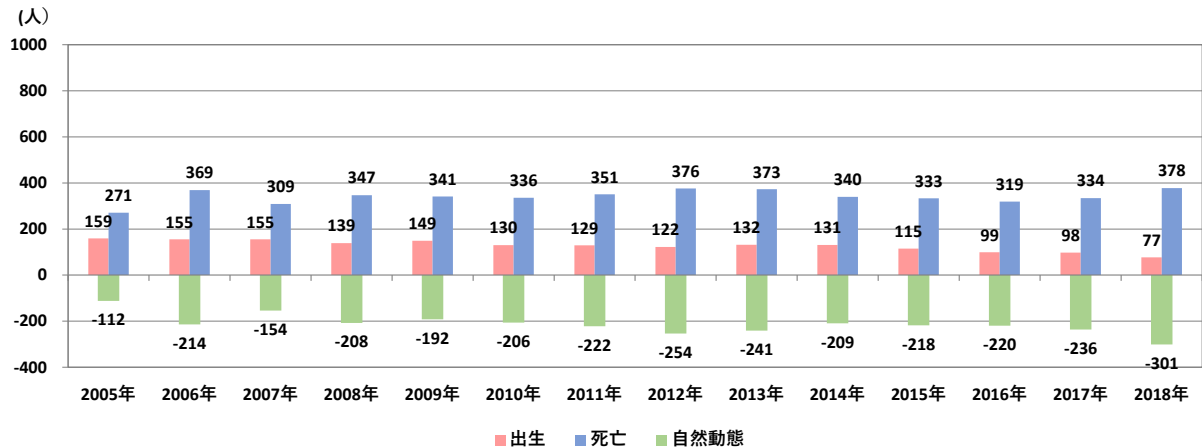
出典：国勢調査

1 - 2 自然動態に関する変化

○自然動態の推移

- ・2005 年以来、死亡数が出生数を上回っています。死亡数は、ほぼ横ばいですが、出生数は、減少し続けています。

図表 自然動態の推移

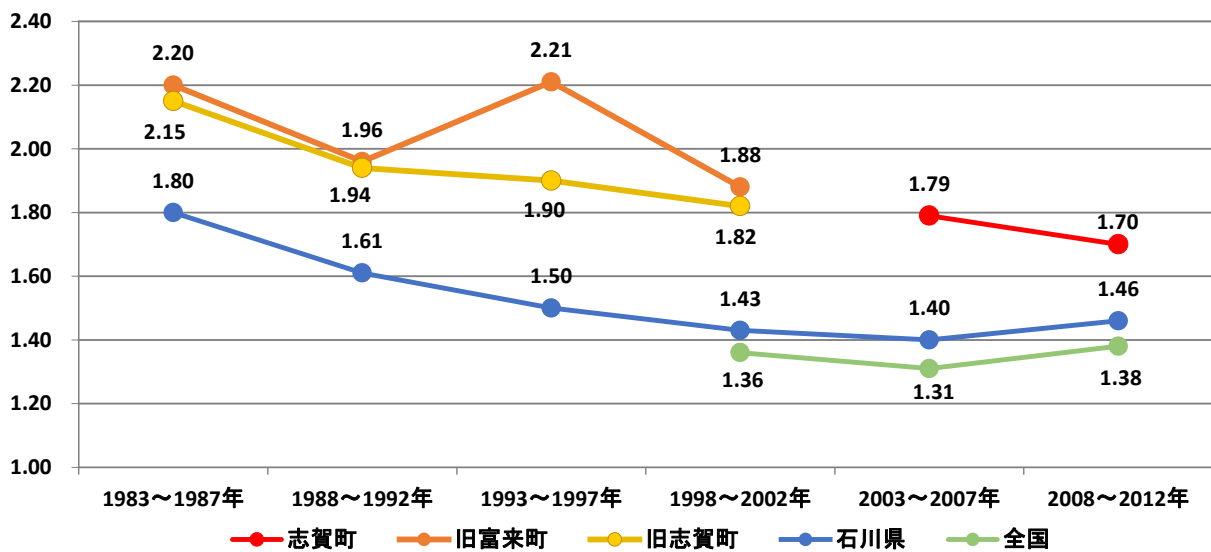


出典：いしかわ統計指標ランド

○合計特殊出生率の推移

- ・本町の合計特殊出生率は合併以前も含めて、全国及び石川県より高い水準で推移しています。ただし、2003 年から 2007 年の値に比べて 2008 年から 2012 年は全国、石川県ともに上昇していますが、本町は低下傾向が続いています。

図表 合計特殊出生率の推移

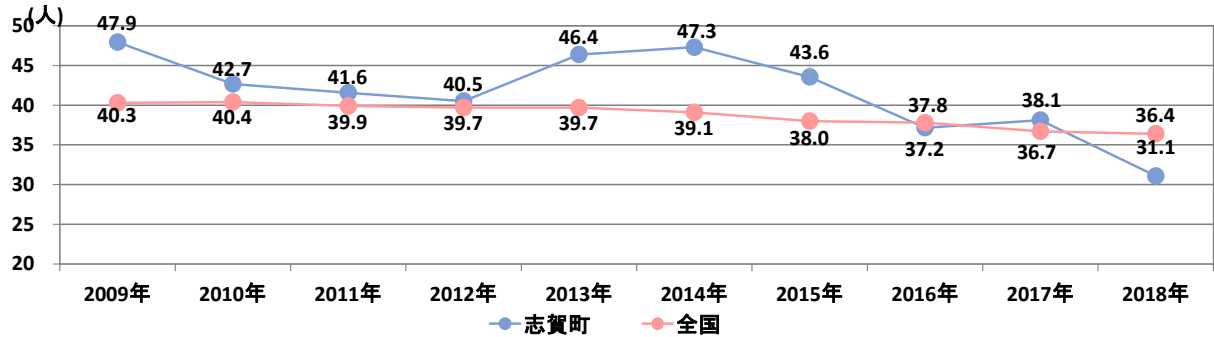


出典：人口動態統計特殊報告書

○15～49 歳の女性千人あたり出生数

- ・全国の出生数の推移は緩やかな減少であるのに対して、本町ではほぼ 10 年間で 16.8 人減少しています。

図表 15～49 歳の女性千人あたり出生数の推移

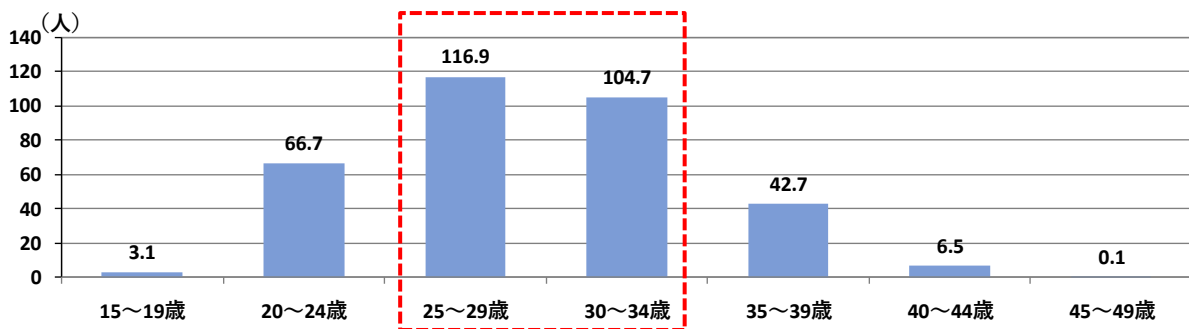


出典：いしかわ統計指標ランド

○母の 5 歳階級別出生率

- ・母親が 25～29 歳のときの出生率が最も高くなっており、次いで 30～34 歳となっています。

図表 母の年齢階級別出生率（2008 年～2012 年）

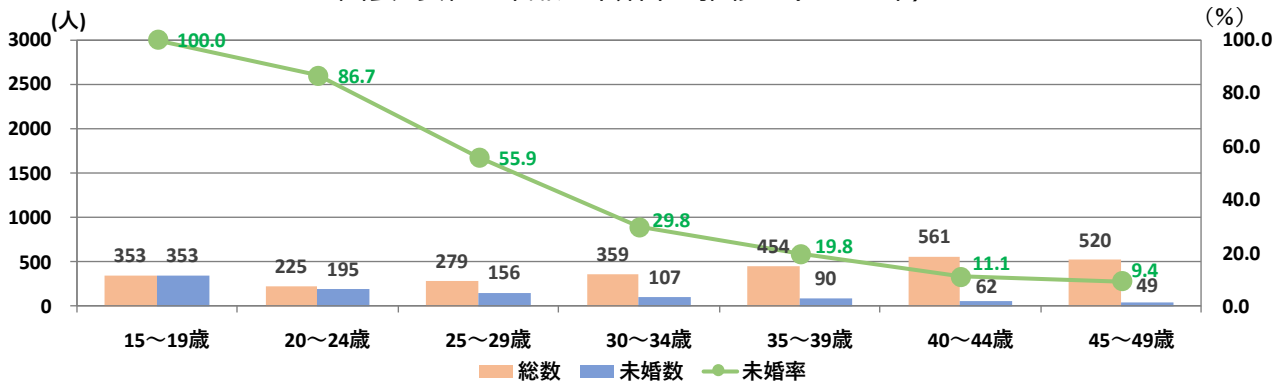


出典：人口動態統計特殊報告書

○女性の 5 歳階級別未婚率

- ・25～29 歳の未婚率は 55.9%、30～34 歳の未婚率は 29.8%となっています。

図表 女性の年齢別未婚率の推移（2015 年）



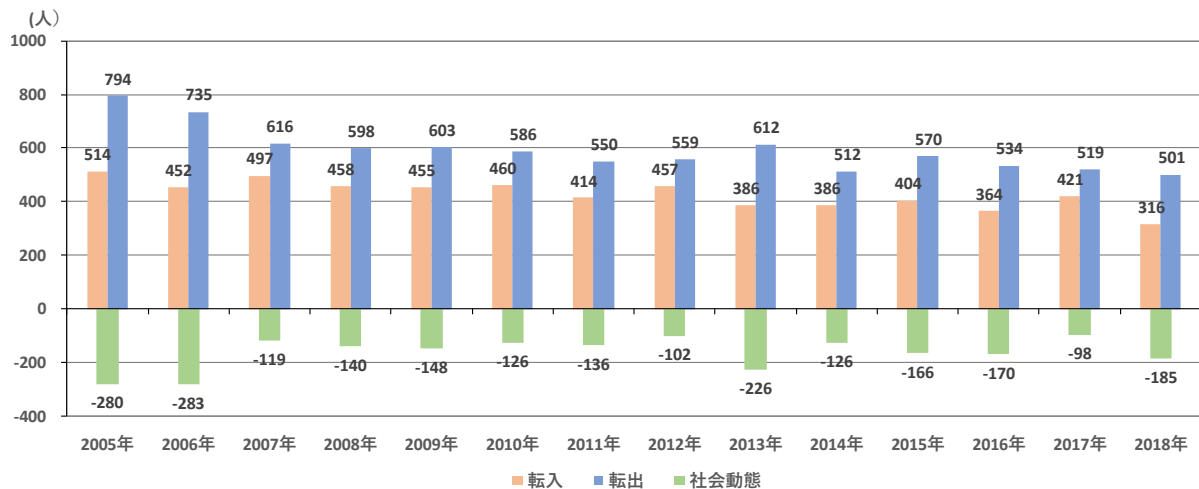
出典：人口動態統計特殊報告書

1-3 社会動態に関する変化

○社会動態の推移

- ・社会動態を見ると、転出超過となっています。転入数、転出数いずれも減少傾向ですが、その差が小さくならないため、2007年以降は100~200人程度の転出超過となっています。

図表 社会動態の推移

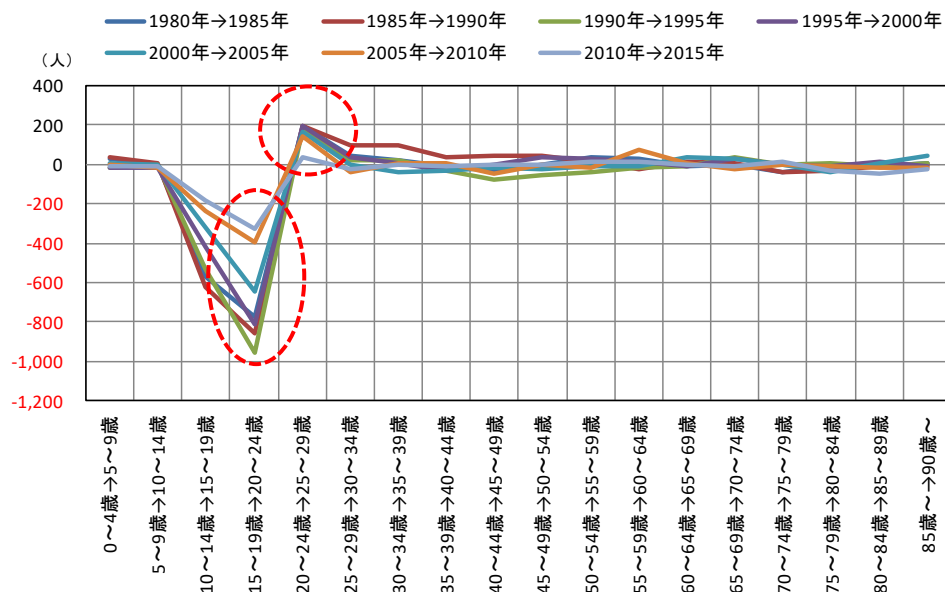


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

○5歳階級別社会動態の推移

- ・「15~19歳」が「20~24歳」になるまでの転出が顕著です。
- ・一方、「20~24歳」が「25~29歳」になるまでの転入が若干多くなっています。

図表 5歳階級別社会動態の推移



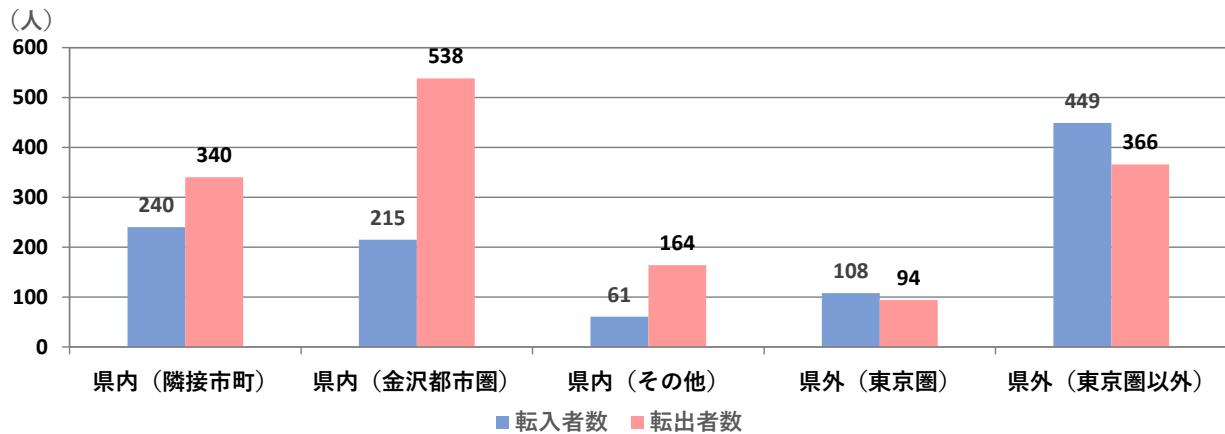
出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき

まち・ひと・しごと創生本部作成

○転入・転出先

- ・ 県外（東京圏以外）の転入転出が最も多くなっています。
- ・ 石川県内での転入・転出の状況は、全ての区分で転出が転入を上回り、とりわけ金沢都市圏への転出が多くなっています。一方、県外での転入・転出の状況を見ると、東京圏、東京圏以外のいずれにおいても転入が転出をやや上回っています。

図表 市町村別転入・転出先（2015年）



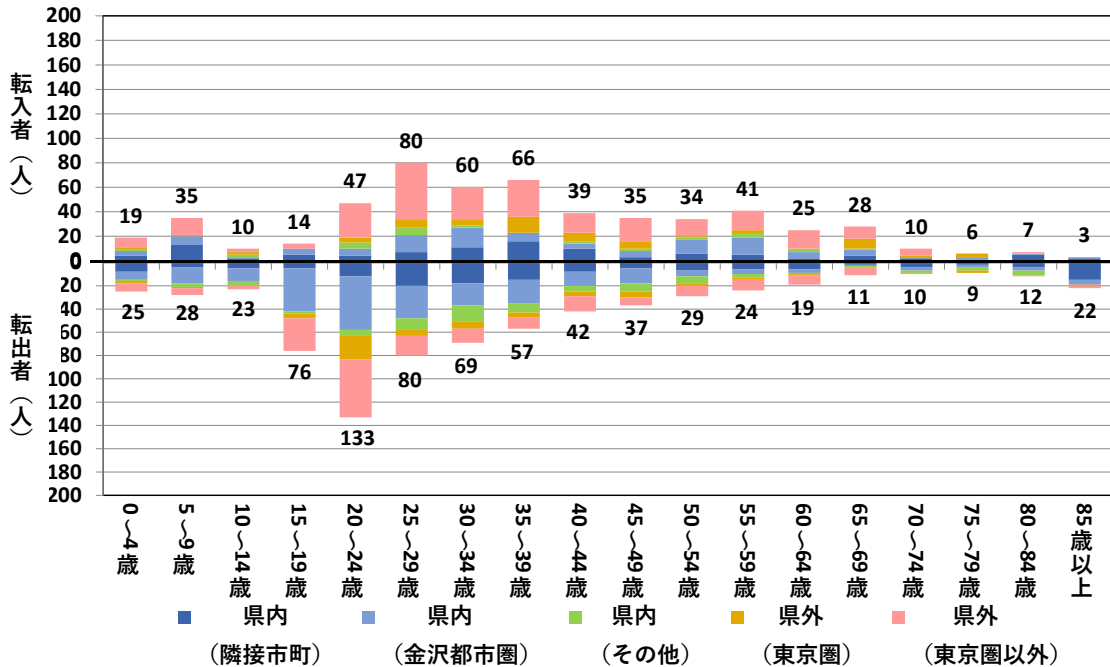
※近隣市町は羽咋市、七尾市、輪島市、中能登町、穴水町、金沢都市圏は金沢市、白山市、野々市市、内灘町、津幡町、東京圏は東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

出典：国勢調査

○性別別 5 歳階級別転入・転出先

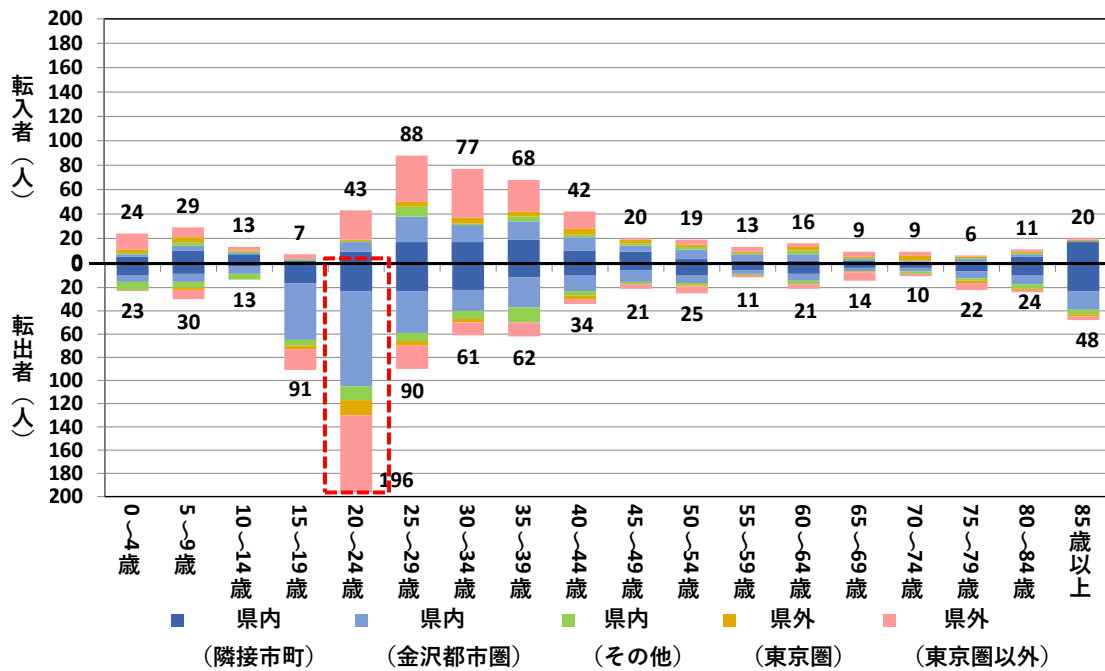
- ・男女ともに 20～24 歳の転出数が多く、特に女性の県内（金沢都市圏）と県外（首都圏以外）への転出が多くなっています。

図表 5 階級別転入・転出先（男性）2015 年



出典：国勢調査

図表 5 階級別転入・転出先（女性）2015 年



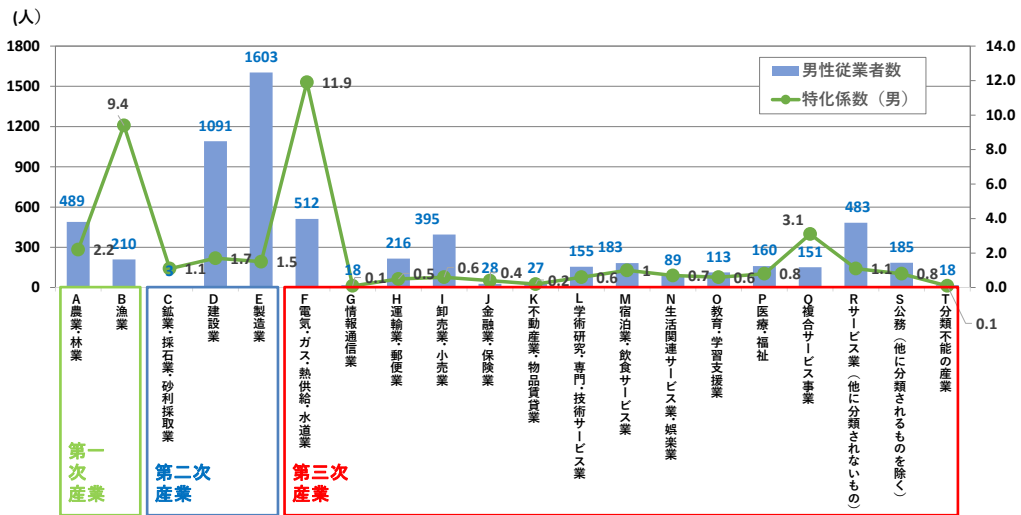
出典：国勢調査

1 - 4 雇用や就労等に関する変化

○志賀町在住者の産業（大分類）別人口及び特化係数※

- ・男性の志賀町在住者では、建設業と製造業の人口が多くなっています。一方特化係数を見ると、電気・ガス・熱供給・水道業において 11.9 と全産業中最も大きな値となっており、電気・ガス・熱供給・水道業への相対的な集積度が高くなっています。

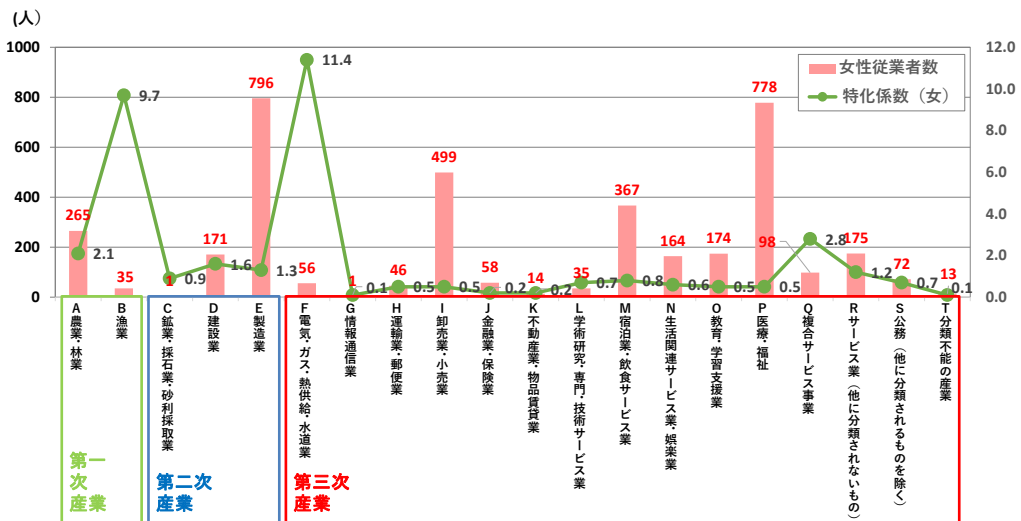
図表 志賀町在住者の産業（大分類）別人口および特化係数（2015年、男性）



出典：国勢調査

- ・女性の志賀町在住者では、製造業と医療・福祉の人口が多くなっています。また、特化係数を見ると男性と同様、電気・ガス・熱供給・水道業において 11.4 と全産業中最も大きな値となっています。

図表 志賀町在住者の産業（大分類）別人口および特化係数（2015年、女性）



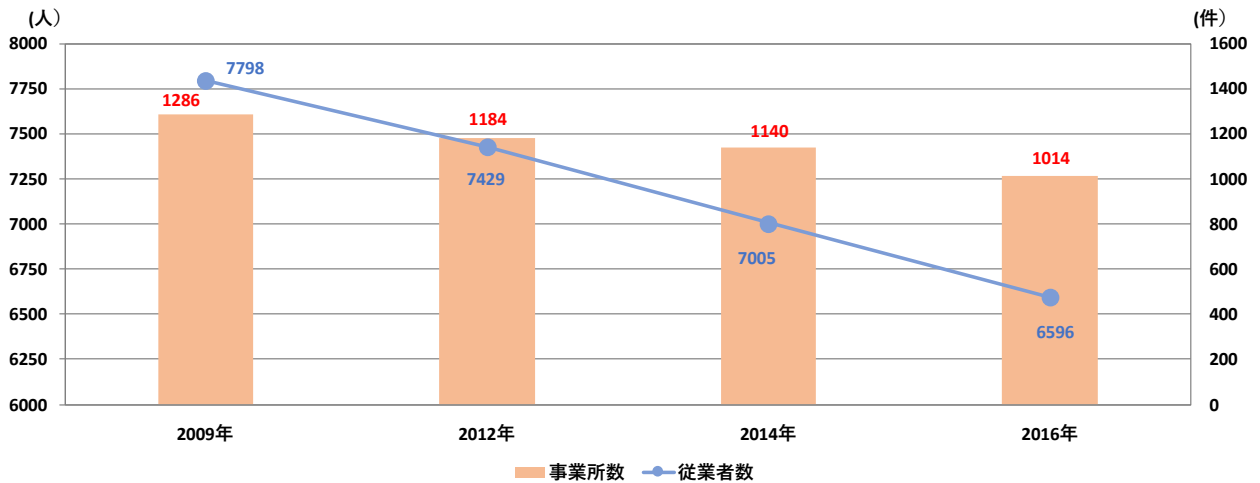
出典：国勢調査

※特化係数:志賀町の産業別就業者比率を全国の産業別就業者比率で除した値であり、各産業の相対的な集積度合いを示します。

○事業所数・従業員数の推移

- ・2009年から2016年の7年間で、事業所数は約15%減少、従業員数は約21%減少しています。

図表 事業所数・従業員数の推移

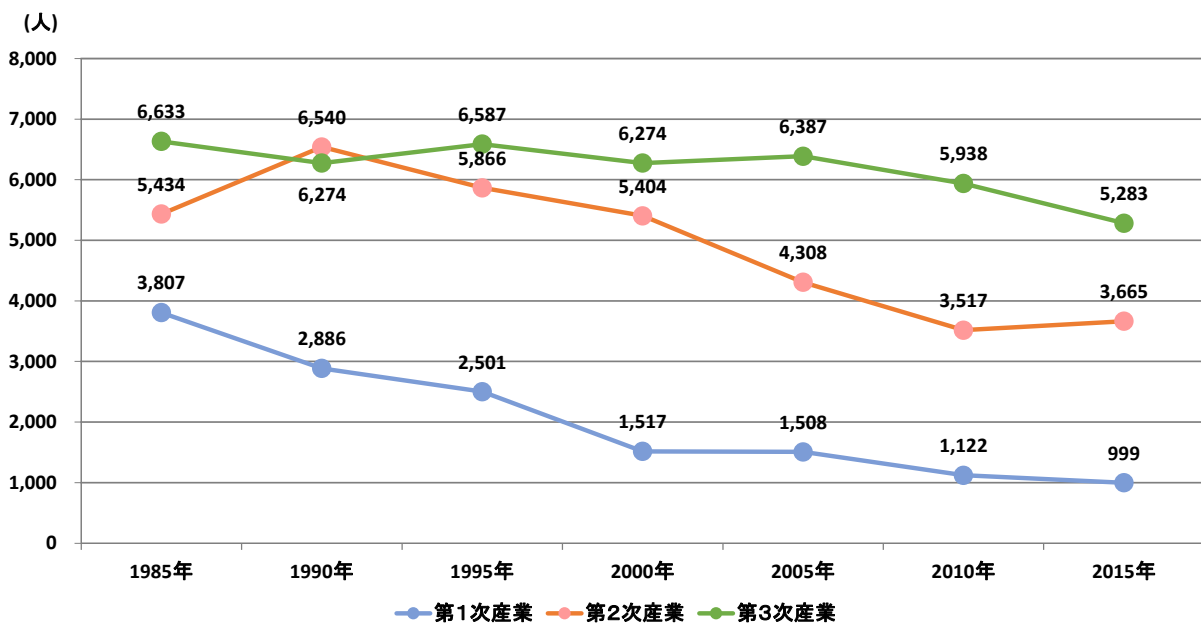


出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

○産業（3部門）別人口の推移

- ・3部門すべてで人口が減少しています。特に、第1次産業の減少が顕著です。

図表 志賀町における産業（3部門）別人口の推移



出典：国勢調査

2. 人口の現状分析

①人口の推移

本町の総人口は減少傾向が続き、1985年から2015年の30年間で約9,400人（約32%）が減少しました。また、特に年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加する傾向が長期的に続いており、2015年では、年少人口割合が10.2%、生産年齢人口が49.6%、老年人口割合が40.2%となっています。

また、自然動態については、結婚・出産に対する支援の充実が図られ、教育環境の整備も進んできたものの、15歳から49歳の女性千人あたりの出生数は減少しています。出生数よりも死亡数が200人以上多い状態が続いています。

社会動態は、転出数、転入数とも減少傾向となっていますが、転出超過が続いています。2008年から2018年の10年では、100人から200人程度の超過となっています。定住促進住宅地整備事業（みらいとうぶ）の分譲により、2017年は転入数が一時的に増加に推移しましたが、2018年は2016年よりもさらに減少しました。移住定住のための取り組みにより、町外からの転入世帯が増加し、一定程度の成果が上がりましたが、転出の抑制は進んでいません。

②人口減少の原因

出生数の減少が続き、また転出超過が続いています。出生数の減少は、15歳から49歳の女性千人あたりの出生数の減少や女性の人口減少により生じ、自然動態の減少に直接影響を及ぼします。

本町では若年の女性の転出が特に大きくなっています。この人口の流出により、自然動態の減少を引き起こし、少子高齢化に伴う人口減少につながっていると考えられます。

産業においては、企業誘致や新規創業者の支援は行ってきたものの、町内の事業所数・従業者数が2009年から2016年で1,286事業所から1,014事業所（▲21%）、7,798人から6,596人（▲15%）であり縮小傾向が顕著です。卸売業・小売業と製造業の事業所、また製造業の従業員の減少が顕著になっています。雇用の不安定さは、若年の町民にとって転出の要因の一つになっている可能性があります。

3. 将来人口推計

3-1 人口ビジョン（改訂版）の考え方

（1）位置付け

志賀町人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえて、人口の現状分析と将来推計により、目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すことを目的に、平成 27 年度に策定しました。

第 2 期志賀町創生総合戦略においても、人口の将来展望を踏まえた計画の立案、実施が求められます。

（2）人口ビジョン改定

○前回人口ビジョンにおける目標人口

- 2060 年の目標人口を約 11,000 人

○前回人口ビジョンにおける目標人口と考え方

前回の人口ビジョンを策定してからの志賀町の人口の減少数は社人研の推計を上回っており、社人研による 2060 年の推計人口では前回の 8,777 人に対し、今回は 7,021 人と約 1,700 人減少しています。このため、目標人口を 11,000 人のままにした場合、推計値の 6 割近く(約 4,000 人)を増加させなければ達成しない目標となります。より現実的な数値を設定し、実感を持って地方創生に取り組むため、目標人口の改訂を行います。

図表 将来推計目標値と国勢調査結果の比較

	志賀町の将来 人口推計目標値 (2015 年) A	国勢調査結果 (2015 年) B	目標値に対する 国勢調査結果比 較 (B-A)
総人口 (人)	20,841	20,422	-419
年少人口 (0~14 歳) (人)	2,221	2,073	-148
生産年齢人口 (15~64 歳) (人)	10,384	10,136	-248
老年人口 (65 歳以上) (人)	8,236	8,213	-23

図表 前回と今回の社人研推計値の比較

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
今回の推計 値 (人)	20,422	18,712	17,001	15,314	13,649	12,014	10,523	9,224	8,076	7,021
前回の推計 値 (人)	20,633	19,109	17,569	16,066	14,614	13,193	11,872	10,708	9,688	8,777

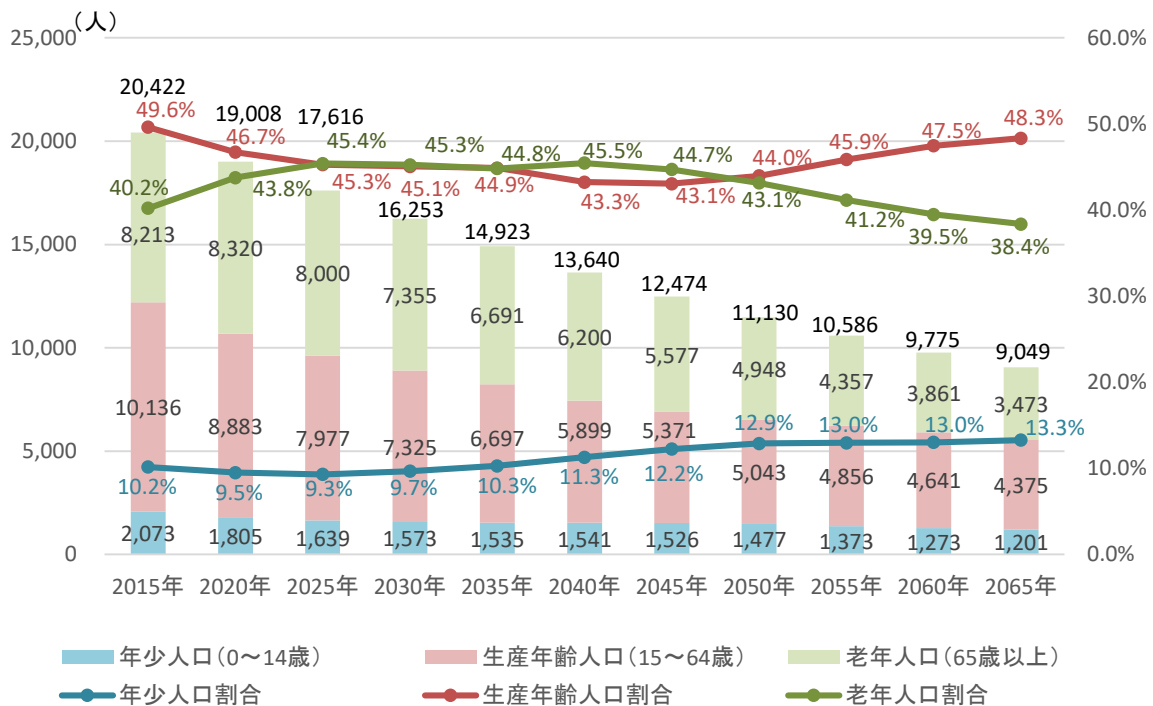
3-2 人口ビジョンの目標

- 2040年の目標人口を約14,000人
- 2060年の目標人口を約9,800人 とします。

目標人口の考え方

- 結婚・出産・子育ての環境を整え、合計特殊出生率を向上
 - ・ 合計特殊出生率を2040年までに2.07を達成します。
- 子育て環境の整備、安定した雇用の創出、安心な暮らしを提供し、転出を抑制
 - ・ 転出超過の年齢層について、転出超過率を3分の2に減らします。
- 新しい人の流れをつくり、転入を促進
 - ・ 転入率が比較的高い20代から30代の若者・ファミリー世代、シニア世代を主なターゲットにします。

上記設定による志賀町の人口推移





発行 令和2年3月

志賀町 〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1

TEL:0767-32-1111 FAX:0767-32-3933